

ゆい! のひろば



宮古島市教育委員会
広報誌

第39号

2019/1/1発行



特集① 言語・方言サミット

特集② 結の橋学園 校長・教頭着任挨拶



音楽祭の様子

CONTENTS



◆ Topics

- ・ 市民文化祭音楽祭
- ・ 年賀はがき贈呈式
- ・ 報告 宮古島市夢実現助成事業



◆ お知らせ

◆ パニパニスクール

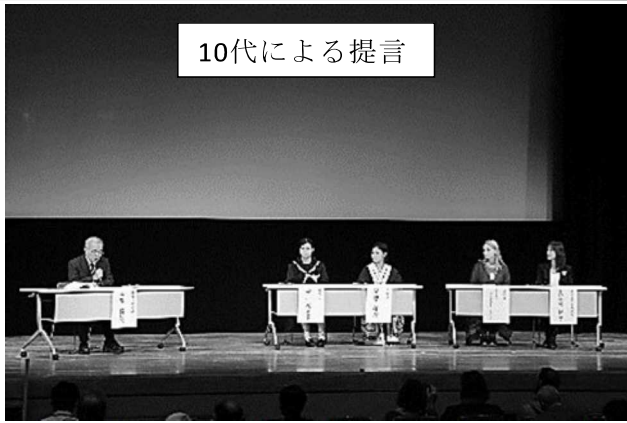
- ・ 東小学校～心をみがき体をつくる日～
- ・ 久松中学校3年生 県代表二冠達成!



◆ 連載

文化財を巡る

- ・ 「保里遺跡」



10代による提言



取組事例発表(教育委員会)



取組事例発表(文化協会)



取組事例発表(附子)



方言聞き比べ(宮古9地域)



閉会宣言

平成30年度 危機的な状況にある 言語・方言サミット (宮古島大会)

我が国における言語・方言のうち、消滅の危機にあるものについて、ユネスコが平成21年に発行した“Atlas of the World's Languages in Danger”の内容を踏まえて文化庁の委託した調査研究の成果、東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する最新の調査研究成果及び、消滅の危機にある言語・方言を抱える各地域の取組状況などについて知っていただき、共に考えることを通して、各地域における消滅の危機にある言語・方言の状況改善につなげる趣旨で11月24日(土)にマティダ市民劇場にて、言語・方言サミット(宮古島大会)が開催されました。

午前には、国立国語研究所教授の木部暢子氏、北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授の北原次郎太氏による危機的な状況にある言語・方言の現況報告や国立国語研究所所長の田窪行則氏による基調講演「ことばと生きる、ことばを残す」、午後には、南サーミ語、アイヌ語、宮古方言の10代の継承者による提言や危機的な状況にある言語・方言の聞き比べ、取り組み事例発表など、様々な催しが展開されました。



豆知識

ユネスコとは、国連連合教育科学文化機関(国際連合の機関)です。

取扱分野は、教育と科学、文化面について扱っています。



子ども達一人一人の可能性を拓き、夢をつなぎ結ぶ学園づくり



結の橋学園 (伊良部島小学校・伊良部島中学校) 初代校長・教頭紹介



宮城克典 (みやぎ かつのり) 校長

結の橋学園(伊良部島小学校・伊良部島中学校)の初代校長を11月1日付けで県教育長より拝命致しました。

宮古で初の小中一貫教育校という事で責任重大ですが、「子ども達一人一人の可能性を拓き、夢をつなぎ結ぶ学園づくり」を保護者、地域の皆様方と構築して参ります。先行き不透明な時代を切り拓くグローバル人材(グローバルとローカルを一緒にした造語)、つまり「地域に根をはり未来を拓く」人材を育成します。

また、社会に開かれた教育課程を推進し、保護者や地域人材、地位資源とコラボし、夢と希望の学園づくりをします。宜しくお願いします。



砂川誠 (すなかわ まこと) 教頭

11月1日に結の橋学園(伊良部島小学校)教頭に任命されました。小中学校の教職員が力を合わせ、義務教育9年間の連続した学びで、これから変化の激しい社会を生きていく子ども達に「生きる力」を育むことができるよう、宮城校長の指導のもと取り組んで参ります。宜しくお願いします。



與那覇慎也 (よなは しんや) 先生

平成30年12月1日より、人事異動で宮古島市教育委員会にお世話になることになりました。

これまで、平成17年～平成21年:宮古島市立久松中学校

平成22年～平成23年:ボリビア国沖縄県民移住地教育施設への派遣

平成24年～平成27年:宮古島市立西辺中学校

平成28年～平成29年:多良間村立多良間中学校

平成30年～平成30年11月:宮古島市立平良中学校の学校で勤務する機会をいただきました。その中では、日々の教育活動に情熱をもって取り組む教職員の皆様から得た刺激、多くの可能性を持った生徒達との出会い、そして温かく接していただいた地域の皆様方との交流等々私にとって大きな大きな財産です。

これまで経験したことを糧とし、今後は教育行政という場に身をおいて、宮古島市の教育施策をきちんと踏まえ、学校教育の更なる充実・発展に微力ながら努めていきたいと考えています。